

新

しい時代の学びの環境整備

文部科学省が、検討を支援します！

少人数学級、GIGAスクール構想、
新しい生活様式、

今のままの教室でいいの？

人口動態を踏まえると、
どのような施設を整備するのが、

ムダなく効果的？

多様な学習活動を
支えることができるのは、

どのような創造的空間？

令和4年度
文部科学省委託事業

新しい時代の学びの環境整備 先導的開発事業
Schools for the Future
「未来思考」で実空間の価値を捉え直し、学校施設全体を学びの場として創造する

上記の諸課題をはじめとした新しい時代の学びを実現する施設環境を
発案・具体化する基本計画の策定を支援します

また、学校施設全体の整備モデルのみならず、
部分的な教室空間モデルを扱った検討にも支援します※

※ 例えば、柔軟で創造的な教室空間づくり、地域の人づくりや魅力向上のための共創空間にフォーカスを当てた改修・整備モデルの検討など

学校設置者は、コンサルタント等と連携し、
学校建築や学校教育の有識者、学校関係者、地域住民、
首長部局等を交えた協議会を設置し、
基本計画等の策定、計画・設計プロセスの整理を実施します

有識者の派遣や
紹介できます！

2～3事例程度、選定予定！

公募期間 3月中旬～4月中旬を予定

背景

Society5.0時代として、社会の在り方が大きく変化しつつある中、子供たち一人一人を大切に、また、お互いを尊重し、協働しながら問題を解決していく資質・能力を育成することが、学校教育の大きな課題になっています。こうしたなかで、「令和の日本型学校教育」の構築を目指し、全ての子供たちの可能性を引き出し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実するための改革が求められています。

予算

文部科学省では、新しい時代の学びを実現する施設環境の整備モデルを構築するため、最新の知見等も踏まえた先導的なモデル研究を実施するべく、必要な経費を予算案に盛り込んでいるところです。

1件あたり7百万円を上限に、合計で2～3件程度を想定しています。

- ※ 予算の範囲内で事業が有益であると認められる場合はその限りではない
- ※ 既存施設の改修と、新築で同数程度をイメージ

募集

令和4年3月中旬から4月中旬にかけて、事業を実施する学校設置者等を募集の予定。 学校施設整備を構想中の設置者におかれては、積極的に本委託事業への応募をご検討いただけますようお願いいたします。

事業内容

- 学校設置者がコンサルタント等と連携し、学校建築や学校教育の有識者、学校関係者、地域住民、首長部局等を交えた協議会を設置し、基本計画等の策定、計画・設計プロセスの整理を実施。
※文部科学省からもアドバイザー（学校建築、学校教育の専門家）等を紹介し派遣
- 国は、本事業を通じて、新時代の学びを実現する学校施設の計画・設計事例を蓄積、横展開を図る。



公募対象

- (1) 国公立の小中学校等の設置者
- (2) (1) 以外の法人（特定非営利活動法人、民間企業等）
※ (2) の場合、計画策定の対象校の学校設置者と連携して実施

テーマ

以下の視点（例）を踏まえた新たな学校施設モデル研究を募集

- ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた、柔軟で創造的な学習空間の整備
- ・新しい生活様式を踏まえた、健やかな学習・生活空間の整備
- ・地域や社会と連携・協働し、ともに創造する共創空間の整備
- ・子供たちの生命を守り抜く、安全・安心な教育環境の整備
- ・脱炭素社会の実現に貢献する、持続可能な教育環境の整備 等

成果物

新しい時代の学びを実現する学校施設モデルの基本計画及びビジュアルイメージ
（計画した学校施設において、どのような新しい時代の教育が可能となるのかという目指す学びの姿を含める）

プロセス

